

本でつなぐわたしたちの未来プロジェクト2016 中学生ポップコンテスト 優秀作品決定!!

鳥取県教育委員会がH24年度に実施したアンケート調査によると、学年が上がるにつれて本を読まない児童・生徒の割合が増加することがわかりました。

このことを受け、子どもの読書活動推進施策の一環として、中学生が読書の楽しさや大切さを感じることを目的として中学生ポップコンテストを行い、このほど優秀作品が決定しました。

※優秀作品は県内の書店での展示を予定しています。

募集時期 平成28年8月～9月 応募作品数 952点

応募の流れ(推薦図書枠の場合)

- 1 推薦者オススメの図書を読む!
- 2 ポップを作って応募する!
- 3 優秀作品に選ばれれば! 本の推薦者へ行ってインタビューできる!

自由図書枠 優秀作品(10作品)

あさだみお 浅田海生さん 鳥取市立北中学校3年 (きみの友だち)	かわかみつきこ 河上都妃子さん 鳥取市立北中学校2年 (ラブオールプレー)
あずみれな 安住玲那さん 鳥取市立中ノ郷中学校3年 (鳩とクラウジウスの原理)	まつだこり 松田琴里さん 鳥取市立中ノ郷中学校2年 (響け!ユーフォニアム)
つるきまお 鶴木麻央さん 鳥取市立福部未来学園中学校2年 (レインツリーの国)	やまもとほるか 山本遥加さん 鳥取市立国府中学校1年 (下町ロケット)
お倉ちゆき 小倉千侑さん 琴浦町立東伯中学校3年 (舟を編む)	おかの凜 岡野凜さん 米子市立美保中学校3年 (植物図鑑)
はやしばら ひかり 林原 旺さん 大山町立中山中学校2年 (フランス人は10着しか服を持たない)	まえたはるか 前田遥香さん 大山町立中山中学校2年 (RDGレッドデータガール はじめてのお使い)

推薦図書枠 優秀作品(16作品)

よしむらゆな 吉村優那さん 鳥取市立中ノ郷中学校2年 (はじめてのおつかい)	よねむらひなた 米村向日葵さん 琴浦町立赤崎中学校2年 (はじめてのおつかい)
かimoto めく 貝本 恵さん 大山町立名和中学校1年 (はじめてのおつかい)	さくらい なゆみ 桜井奈弓さん 鳥取市立湖東中学校3年 (キッチン)
みやたひめか 宮田姫嘉さん 米子市立福米中学校1年 (ゆらゆらばしのうで)	むらたこうと 村田空翔さん 米子市立福米中学校2年 (変身)
おののゆかり 小野寺由愛さん 米子市立福米中学校1年 (ハッピーバースデー)	いしだみづき 石田美月さん 鳥取市立東中学校3年 (君の隣をたべたい)
みづのたまき 水戸口珠乃さん 鳥取市立西中学校1年 (君の隣をたべたい)	あだちゆめ 定立夢実さん 米子市立美保中学校3年 (君の隣をたべたい)
みなみまき 南前美吹さん 境港市立第一中学校2年 (君の隣をたべたい)	へんみまいか 逸見舞翔さん 鳥取市立東中学校1年 (くちびるに歌を)
すみ のどか 角 和香さん 米子市立美保中学校3年 (くちびるに歌を)	こばやしわか 小林若菜さん 鳥取市立東中学校2年 (夜のピクニック)
かやのあやか 萱野綾香さん 米子市立加茂中学校1年 (夜のピクニック)	こつぽともか 小坪朋夏さん 大山町立名和中学校3年 (神様のカルテ)

推薦者と推薦本

保育士 [鳥取市立保育園]	はじめてのおつかい(筒井頼子 作、林明子 絵) ゆらゆらばしのうで(きむらゆういち 文、はたこうしろう 絵) キッチン(吉本ばな 著)
看護師 [鳥取大学医学部附属病院]	変身(カフカ 著)、ハッピーバースデー(青木和雄 著) 君の隣をたべたい(住野よる 著)
アナウンサー [BSS]	くちびるに歌を(中田永一 著)、夜のピクニック(恩田陸 著) 神様のカルテ(夏川草介 著)

問合せ先 県教委社会教育課 電話 0857(26)7943 FAX 0857(26)8175

『鳥取県支え愛交通安全条例』が、10月14日に施行されました。

子どもたちみんな! 自転車用ヘルメットをかぶろう!

子どもに自転車を利用させる時、保護者が気をつけるポイントを教えてください。

条例で、保護者の努力義務として、子どもに自転車を利用させる時の乗車用ヘルメットをかぶらせることが規定されました。
【第16条第2項】子どもの保護者は、子どもに自転車を利用させるときは、乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めるものとする。
※本条例に定める「子ども」とは、満18歳に達する日以後の最初の3月31日の間にある者を言う。

自転車に乗るときに気をつけることは?

その1 交通ルールを守ろう。
その2 すずんでヘルメットをかぶろう。
万が一交通事故にあった場合、頭部損傷の被害を軽減することができます。

「自転車損害賠償保険って、何?」

条例では、保護者に対し、子どもに自転車を利用させるときは自転車損害賠償保険等に加入するよう努めると規定されていますが、自転車損害賠償保険等とはどんなものですか?

自転車損害賠償保険等とは、自転車事故によって生じた他人の生命又は身体、財産の損害を補償することができる保険は共済をいいます。民間保険会社では「自転車保険」という商品名でも販売されています。

新たに保険に加入する必要があるのですか?

既に保護者の方が加入されている自動車保険や火災保険の特約として付帯している個人賠償責任保険で補償できる場合もありますので、契約内容を確認してみてください。また、PTAが斡旋する団体保険(総合保障制度)は自転車事故の補償も含まれていますので安心です。

問合せ先 県教委体育保健課 電話 0857(26)7527 FAX 0857(26)7542

平成28年度鳥取県体力・運動能力調査の結果

県内全公立小学校・中学校、県立高等学校(全日制)の全児童生徒(小1～高3の計12学年)を対象に実施された調査の結果をお伝えします。

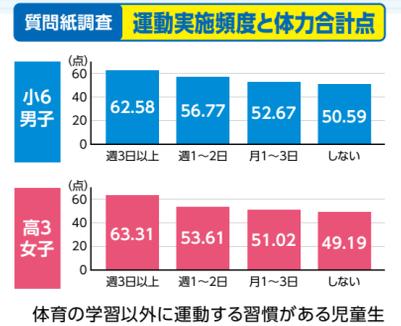
実技の調査① 体力合計点比較

性別	学年	向上	低下
男子	小1	30.68	37.73
	H27	30.86	37.97
	H28	43.70	49.69
女子	小1	30.63	38.43
	H27	33.69	42.65
	H28	49.44	52.21

実技の調査② 種目平均値前年度比較

種目平均値が前年度数値を上回った学年数

種目	男子	女子
握力	7	6
上体起こし	4	7
長座体前屈	1	3
反復横跳び	7	8
シャトルラン	8	8
50m走	7	9
立ち幅跳び	7	8
ボール投げ	5	6



H27とH28の体力合計点(8種目の合計点)平均値を比較すると、小1～高3までの男女それぞれ12学年(計24学年)のうち、男子5学年、女子9学年の計14学年で前年度を上回っています。

握力、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳びにおいて、半数以上の学年で前年度の数値を上回っています。しかし、長座体前屈においては、前年度数値を下回る学年が多い状況です。

体育の学習以外に運動する習慣がある児童生徒ほど、体力合計点が高くなる傾向にあり、運動習慣が少ない児童生徒との差が見られます。

問合せ先 県教委体育保健課 電話 0857(26)7522 FAX 0857(26)7542

鳥取県特別支援学校 就労促進セミナー 私たちは働く力と意欲があります!



鳥取県特別支援学校就労促進セミナーは、特別支援学校の児童生徒の様子を企業・事業所に幅広く発信し、また、児童生徒本人や障がい者雇用・就労に関わる事業所、卒業生、支援者などがそれぞれの立場から障がい者の就労促進について意見交換を行い、理解や連携を深めることを目的としています。

今年度も中部：6月7日(火)、東部：7月14日(木)、西部：9月14日(水)にそれぞれの地域の状況や実態に合わせて、特色あるセミナーが開催されました。

企業からは3つの地域合わせて147社172名の参加者があり、全体としては450名の参加者がありました。

参加者の声

「働くことの意欲、職場での問題等、実際の声を聞かせていただき、みなさんの気持ちにストレートに伝わってきました。」(企業)

「自分の意見をしっかりと発表できて感動しました。これから自分の子どもが職場実習に初めて入りますが、実習をしていくうちに自分に合った就職先が見つかると思います。」(保護者)

問合せ先 県教委特別支援教育課 電話 0857(26)7575 FAX 0857(26)8101

倉吉総合産業高等学校 チャレンジショップ「くらそうや」

10月1日から11月5日までの金土に倉吉白壁土蔵群内の倉吉市防災センター「くら用心」にて「くらそうや」を開店しました。たくさんの観光客、地域の方々にご来店いただきありがとうございました。おかげさまで111日目を迎えることができました。機械科・電気科・生活デザイン科が開発したオリジナル商品を販売、電気科の「おもちゃの病院」の開設、情報科が開発したPOSシステムの運用、情報科のポスター、CM、Web製作など、各科の協力で運営しています。

イメージキャラクター そうび

おもしろい病院: 電気科3年生の生徒が、音が出なくなったり動けなくなったりしたおもちゃを、本校で習得した知識及び技能を活用し修理しました。自分たちでやり遂げる達成感や、ボランティアの喜びを得ることができました。

他校との連携: くらそうやは、本校のオリジナル商品だけでなく次の学校の実習品も委託販売しています。
○倉吉農業高校(野菜、ソーセージなど)
○日野高校(ジャム)

オープンセレモニー

接客風景

吉川和希社長の感想(ビジネス科3年): 「くらそうや」に取り組むことで、チャレンジ精神や協力してやり遂げる力が身に付いたと思います。やりがいや役立ち感、達成感を実感できました。大きな自信になりました。

問合せ先 県立倉吉総合産業高等学校 電話 0858(26)2851 FAX 0858(26)2852 HPアドレス http://www.torikyo.ed.jp/sousan-h/

シリーズ 鳥取県のエキスパート教員

鳥取県では、優れた教育実践を行っている教員を「エキスパート教員」として認定し、教職員全体の指導力向上を図っています。今回は、鳥取市立北中学校の吉田祐一郎 教諭(認定分野:理科)にお話を伺いました。

身の回りの生活とのつながりを実感できる理科の授業をめざして

「日本の未来が危ない!」
「将来、理科や科学技術に関わる職業に就きたいと思いませんか?」昨年4月に実施された全国学力・学習状況調査において、このような質問事項がありました。これに肯定的な回答をした鳥取県の小学生は26.5%、中学生では23.3%でした。この結果に私は少なからずショックを受けました。科学技術を基盤に発展してきた日本の未来を支える今の小学生のうちで、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思っている児童生徒が約1/4というのは少ないと理科の教員として危機感を抱いています。

「理科と生活とのつながり」を大切に

授業においては、教室や理科室の中だけの理科にならないよう、「生活とのつながり」を意識できるように心がけています。例えば、炭酸水素ナトリウムの分解の学習では、小麦粉と砂糖と牛乳を混ぜて蒸しパンを作りました。重曹(炭酸水素ナトリウム)有り無しで作った出来上りの比較をします。さらに、理科室ではなく調理室で行うことで、より生活感を出します。この実験を通して、炭酸水素ナトリウムの性質の理解だけでなく、調理やお菓子作りに化学反応が役立っていることを実感できました。

「学ぶ意欲・進路につながる理科の授業をめざして」

観察・実験では、「自分の手で」ということも大切にしています。班で観察・実験を行うことが多いのですが、人数が多くなるとそれだけ個人の役割が少なくなります。モーターのしくみの学習では、全員がモーターづくりに挑戦しました。初めはなかなか回りませんが、自分の手で作ったモーターがぐるぐる回り始めるのととても感動します。もの作りの楽しさも伝えたいことのひとつです。「理科って面白いな」「もっと学んでみたい」「将来、こんな仕事についてみたい」生徒たちがそんな思いを抱いてくれるような理科の授業を、これからもめざしていきます。

問合せ先 県教委小中学校課 電話 0857(26)7915 FAX 0857(26)8170